

会場

矢吹町文化センター 大ホール

回 覧

日本一健康な 「町」づくり 特別講演会

みなさんへ

矢吹町・泉崎村・中島村の

健康・長寿は、町民の願いであり町の期待です。
この願いを叶えるには、日頃からの心がけが大事です。
しかし時として大きな病を得ることもあります。
この、特別講演会では、講師の先生から教示いただき、
健康・長寿に深い関心を
もつことができます。

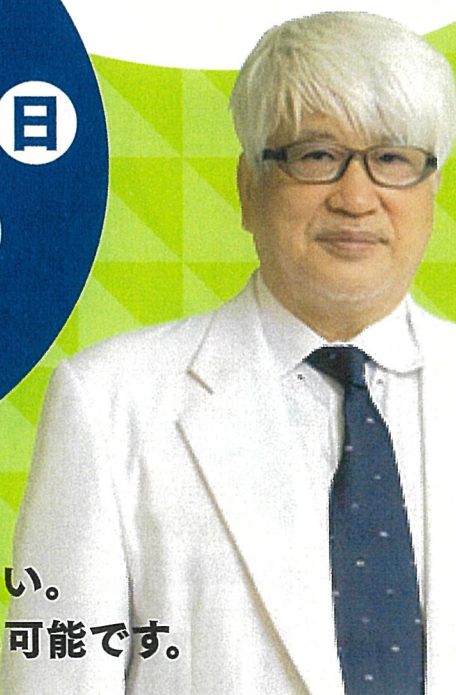
2025年

11月16日(日)

開演14:00

開場13:30
(約1時間程度)

ぜひ、ご友人・
ご近所の方とご参加ください。
ご夫婦、ご家族での参加も可能です。



講師

村上 昌雄先生

総合量子線治療センター
副統括本部長
一般財団法人
脳神経疾患研究所 附属
南東北がん陽子線治療センター
センター長

演題

あきらめないがん治療
～集学的陽子線治療とは～

主催 一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 南東北がん陽子線治療センター

共同主催 矢吹町日本一健康な町をつくる会

共催 矢吹町・泉崎村・中島村・一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院

後援 矢吹町老人クラブ、矢吹町高齢者学級(ことぶき大学)、矢吹ロータリークラブ、
矢吹町ライオンズクラブ、矢吹町商工会

切らずに治す、がんの治療方法を一緒に学びませんか？

国民病とも呼ばれるがん。

日本人の2人に1人が発症し、3人に1人が命を落とすと言われています。

PET(ペット)などの診断機器や治療技術が進歩し、がんは「不治の病」ではなくなりつつありますが、

後遺症や副作用を伴うがん治療は「当たり前の日常」を犠牲にし、

仕事や家庭生活との両立を難しくするものでした。

そのため、本人や家族のためにも体に負担の少ない治療法が求められてきたのです。

「切らないがん治療」である陽子線治療は、治療時の苦痛や体への負担が少なく、

これまでの生活を送りながら“がんを治療する”という

選択を可能にしてくれます。



切らない

通院
できる

副作用が
少ない



当センターの特長

- 1 局所進行がん(頭頸部、膀胱癌、骨軟部腫瘍など)は動注化学療法併用陽子線治療で良好な結果が得られている。
- 2 腹部骨盤領域の腫瘍(膵癌、直腸がん術後再発など)が消化管に隣接する場合は、スパーサー留置手術後の陽子線治療で安全に治療成果を狙う。
- 3 放射線治療後の再発例でも、腫瘍が限局している場合は陽子線再照射で根治を狙う。



「公的医療保険」適用部位

頭頸部がん

(口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く)

- 耳下腺がん●上顎洞がん●顎下腺がん
- 篩骨洞がん●悪性黒色腫
- 口腔がんの非扁平上皮がんなど

肺がん

(手術による根治的な治療法が困難であるⅠ期～ⅡA期に限る)

肝細胞がん

(長径4センチメートル以上のものに限る)

肝内胆管がん

局所進行性膵がん

局所大腸がん

(手術後に再発したものに限る)

前立腺がん

小児がん

骨軟部腫瘍

(切除非適応のがん)

脳腫瘍

- 髄膜腫 など

頭頸部がん

(口腔・咽喉頭の扁平上皮がん)
●舌がん●咽頭がん●歯肉がん
など

食道がん

肺がん

- 非小細胞肺がん

肝臓がん

- 肝細胞がん
- (長径4センチメートル未満のもの) など

肝門部胆管がん/ 胆道がん

腎臓がん

- 腎細胞がん

膀胱がん

転移性がん

(肺・肝・リンパ節の少数個転移)
各種原発巣から、肺・肝・リンパ節に
転移した腫瘍

「先進医療」適用部位

当センターではホームページから治療に関するご相談をはじめ、資料請求もできますのでお気軽にお問い合わせください。